



一期一会

- 2 -



<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

緊急事態宣言が延長されます

新型コロナウイルス第4波の流行によって、豊中市内の学校でも連日のようにPCR検査をしたり陽性が判明したりということが起こっています。4月25日に発令された3回目の緊急事態宣言は、5月末まで延長されるようです。変異ウイルスは感染力が強く子どももかかることや、重症化しやすいということが報道されており、不安に思っている人も多いことと思います。

不安が高まると、他人に対して攻撃的な気持ちになる人が増えることが知られています。新型コロナウイルスが出てからも、医療関係者やその家族に対する差別が起きたり、感染した人たちをSNSで攻撃したり、他県ナンバーの自動車を傷つけたりといったことが起こっています。

こういった行動は、自分が感染しないため、また感染を広げないために感染リスクのあるものを避けようとする心理からおこります。さらに元をたどれば生きようとする本能からおこるものだと考えられます。しかし、それが他人への非難や攻撃という形になってしまうと正しいとは言えません。

かからない、感染を広げないための正しい行動はこれまで通りです。理性的に考えることのできる人になってほしいと思います。



- ・手洗いの励行（石けんでウイルスの膜が壊れ感染力がなくなります）
- ・マスクの着用（つばの小さな粒子が飛ぶことを防ぎます。食事は黙食で。）
- ・3密を避ける（密閉→換気、密集→集まりを避ける、密接→人と距離をとる）

早寝、早起き、食事。規則的な生活をして免疫力を高めることも大切です。

ピンチはチャンスだ！

もし自分が感染症にかかったとしたらどうしますか？

もし、みなさんの身近な誰かがかかってしまったらどうしますか？

例えばそれが仲の良い友だちなら、？

あまり知らないクラスメイトだったら？

家族だったら、、、？

誰一人としてかかりたいと思って感染する人はいません。かかってしまった人もかかっていない人も同じ思いだったのです。違いはウイルスが体に入ってしまったか、ウイルスがたまたま体内に入らなかったか、ということだ

けです。かかってしまったからといって、その人は別のの人になってしまったわけではありません。だからそんな風にその人を扱わないで下さい。

でも、その人から自分が感染しないようにしないといけません。その人から距離を取り、消毒もしないといけません。これらは拡大防止のため必要な事です。

行動はそれまでと変えないといけませんが、その人を見る眼差しが変わることがあってはいけません。この二つのことを混同すると差別につながります。その人の回復を願い、回復すればあなたの行動も元のように戻してください。風邪をひいて治ったときと全く同じことです。

誰かが感染した時に、まわりみんなが温かい行動でその人のことを支えてくれるクラスなら、一気にお互いの信頼感が高まり、みんなにとっても最高に居心地のよいクラスになるのではないのでしょうか。近くにいる誰かがかかってしまったことはピンチな状況ですが、その時はそんな思いやりのあるクラスや学校になれるチャンスでもあるのです。

英語で「CH」のつく4つの単語があります。
ピンチをチャンスに変える魔法の言葉です！



PINCH (ピンチ) 今は確かにピンチの状況です！

CHALLENGE (チャレンジ) ピンチをチャンスにするため挑戦する気持ちが必要！

CHANGE (チェンジ) そして、今までの自分を変える！

CHANCE (チャンス) その良い機会です！

出席停止期間中の学習保障について

濃厚接触者になったり陽性になったりすると、しばらくの間出席停止となります。その間の学習の保障に、1人1台タブレットを使ってオンライン授業をすることを検討しています。オンラインにもいろいろな方法が考えられますが、もしクラスで授業を行われている授業を配信するとすれば、教室にカメラ（またはタブレット）を固定して撮影することになります。

その時に感染者を詮索（せんさく：探し求めること）したりする動きになるようなクラスなら、そうしてほしいとはなかなか言い出せませんよね。病気に加え、病気によるいじめまで心配しないといけないのではつらいです。

皆さんは静かに見守り、休んでいるその人が早く学校に復帰するのを願い、待ってください。できれば温かい声かけをお願いします。その人が自宅待機の期間が終わったときに、学校に復帰しやすい雰囲気づくりは、まわりの皆さんにしかできないことなのです。よろしくをお願いします。